

ご使用になる前に
この取扱説明書（保証書付）を最後までお読みのうえ正しくお使いください。

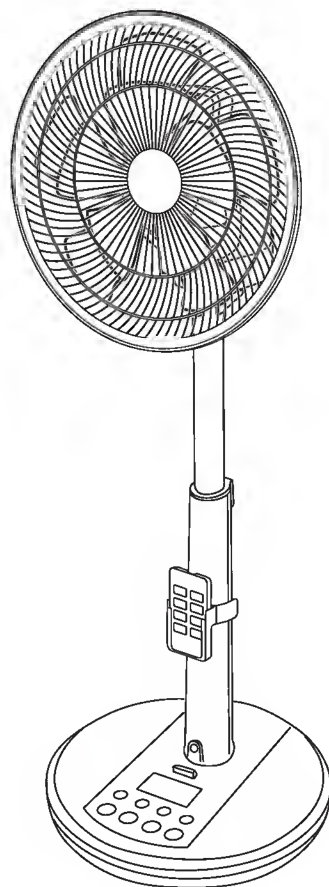
一般家庭用

30cmDCモーター　ハイリビングサーキュレーター（人感センサー付）

YHCX-BD30

（ワイヤレスフルリモコン）

取扱説明書（保証書付）



もくじ

お買上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書（保証書付）は、大切に保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	**警告**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡又は重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	**注意**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


⦸記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。


●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

 警告


禁止

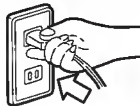
交流100V以外での使用やコンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしない

- 延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセント部が異常発熱して、発火・火災の原因になります。
また、インバーター電源などを使用すると誤作動することがあります。


指示に従う

電源プラグは根元まで確実に差し込む

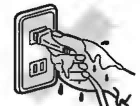
- 感電や発熱による火災の原因になります。




ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない

- 不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。




指示に従う

包装用ポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する

- 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。




分解禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない

- 発火したり、異常動作してけがの原因になります。

※故障と思われるときは、お買上げの販売店へ点検・修理をご相談ください。


禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

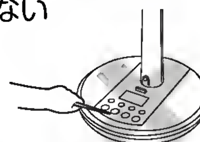
- 感電・ショート・発火の原因になります。




禁止

開口部やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない

- 感電や異常動作してけがをする原因になります。




禁止

ガードの中や可動部、すき間などに指や棒などを入れない

- 重大なけがをする原因になります。特にお子様には注意してください。

⚠警告


水ぬれ禁止

本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

●感電・ショート・火災・故障の原因になります。




禁止

組み立てる前に支柱を立てたり、電源プラグを差し込んだりしない

●不安定なため転倒し、ショート・感電・けがをする原因になります。


禁止

羽根・ガード・ベースを付けずに高さ調節ボタンを押したり運転しない

●モーター部が飛び出したり、転倒してけがの原因になります。


禁止

電源プラグをなめさせない

●お子様が誤ってなめないように注意してください。感電やけがの原因になります。


禁止

ガードや本体に物をかけたり、かぶせてふさぐなどして使用しない

●本体の過熱や故障の原因になります。


禁止

使用中にガードを持って、上下・左右に風向きをかえない

●ガードを持って強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、けがをする原因になります。


指示に従う

定期的に電源プラグのほこりを取る。電源プラグにピンやゴミを付着させない

●刃や刃の取り付け面にピンやゴミが付着したり、ほこりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。
電源プラグのお手入れは、乾いた布でふいてください。


指示に従う

本体に異常・故障・破損があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

●火災・感電・けがの原因になります。
すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店へ点検・修理をご相談ください。


禁止

浴室などの湿気のある場所や、雨や水のかかる場所で使用しない

●ショート・感電・故障の原因になります。


指示に従う

羽根・ガード・支柱を組み立てるときはスピンナー・ナット類を確実に締め付ける

●運転中に部品が外れけがをする原因になります。


禁止

お子様だけで使用させたり、幼児の手の届く所で使用しない

●感電・けがの原因になります。


禁止

電源コードを傷付けたり、破損させたり、熱器具に近付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない

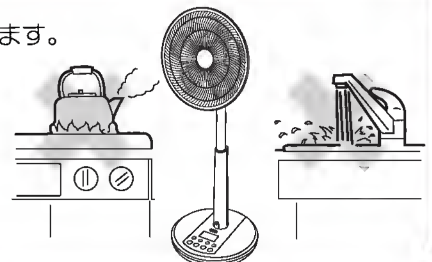
●また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災・感電の原因になります。
※結束バンドは必ず外す。

⚠注意


禁止

次の場所では使わない

●感電・ショート・火災・爆発・事故・故障の原因になります。
- 火気の近く
- 高温（40℃以上）になる所
- キッチンや工場などの油・油煙が発生する所
- ほこりや金属粉の多い所
- 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものがある所



⚠注意


プラグを抜く

外出するときなど使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
- 絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。


禁止

本製品は一般家庭用です。絶対に業務用に使用しない
- 本製品に無理な負担がかかり、火災・事故・故障の原因になります。


禁止

製品を移動するときは引きずらない
- 床面や畳に傷が付く原因になります。


禁止

風を長時間、身体にあてない
- 健康を害することがあります。
  特に、お子様やお年寄り、ご病気の方にはご注意ください。脱水症状を引き起こす原因になります。


禁止

本体に強い衝撃を与えない
- 感電・故障・破損の原因になります。


禁止

カーテンなどの障害物の近くや不安定な場所で使用しない
- ガードの中にカーテンなどが吸い込まれ、羽根の破損やけがの原因になります。
- 不安定な場所に置くと、転倒や落下するなどしてけが・故障の原因になります。


禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない
- 感電やショートして発火することがあります。

※必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。


指示に従う

本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する
- 羽根やガードが外れたり、落下によりけがをする原因になります。


指示に従う

運転停止直後はモーター軸が熱くなっていることがありますので、お手入れをする際は注意する


禁止

掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない
- 変質・破損などによりけがや事故の原因になります。


禁止

入タイマーを設定しているときは、ガードや羽根に触らない
- 急に運転が開始して、けが・事故の原因になります。


禁止

ガードに頭髪などを近付けない
- 頭髪などが巻き込まれ、けがをする原因になります。


禁止

運転中に本体を移動させない
- 特に首振り運転中に移動すると、故障やけがの原因になります。


指示に従う

リチウム電池の取り扱いには充分注意する
- 使いかたを誤ると発熱・破裂・感電・やけど・けがの原因になります。
  - 指定以外のリチウム電池を使用しない。（指定リチウム電池：CR2025）
  - 極性（⊕と⊖）を間違えない。
  - リチウム電池をお子様の手の届く所に置かない。
  - 充電・分解・ショート・加熱したり、火の中に入れたりしない。
  - お子様が誤って、リチウム電池をなめたり、飲み込んだりしないように注意する。
    万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。


禁止

お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない
- 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。

※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。



事故防止の為、必ずお守りください

運転中は羽根が高速で回転しています。お子様が誤って指などを入れないように、保護者の方が注意してください。

- **ガードを外しての運転は大変危険です。絶対におこなわないでください。**
- **ご使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

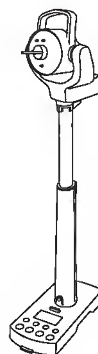
各部の名称

ガード合わせマーク
後ガード
はずす▼
▼とめる
前ガード
前ガード
パイプ
支柱
高さ調節ボタン
人感センサー
リモコン受信部
機能表示部
操作部
電源コード
電源プラグ
ベース

スピンナー
取っ手
モーター部
アーム部
羽根
後ガード
首振り幅調節レバー

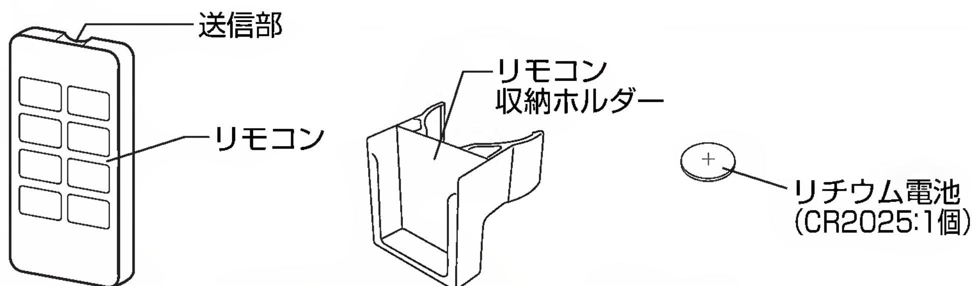
支　柱

本文中に出てくる支柱とは右図の部分を示します。



各部の名称　つづき

付　属　品



●ご注意
※本製品に最初から付属している電池はテスト用のため、新しい電池に比べて寿命が短い場合がございます。
リモコンが動作しにくくなった場合は新しい電池と取りかえてください。

リモコン

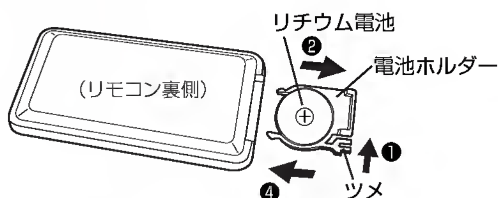
1. リチウム電池の入れかた（リチウム電池 CR2025 1個）

❶.リモコンを裏返し電池ホルダーのツメを矢印の方向へスライドさせる。

❷.❶の状態のまま電池ホルダーを引き出す。

❸.電池ホルダーにリチウム電池の⊕側を上にして載せる。

❹.電池ホルダーを確実に押し込む。



■動作しにくくなった場合は、新しいリチウム電池と取りかえてください。

お願い	●長期間リモコンを使用しないときは、リチウム電池の液もれを防ぐために、リモコンからリチウム電池を取り出してください。

2. 操作のしかた

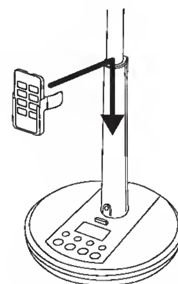
リモコンの送信部を本体の受信部に向けて、お好みのボタンをゆっくり押す。
●リモコンの使用できる範囲は約３mです。

お願い	●リモコンの送信部に傷を付けないでください。 ●リモコンのボタンを2つ以上同時に押さないでください。 ●リモコンを落としたり、踏んだり、液状のものをかけたりしないでください。

■次のような所ではリモコンの操作ができないことがあります。

●本体受信部とリモコンの間に障害物（羽根・ガード含む）がある所。
●インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用している所。
●本体の受信部に直射日光などの強い光があたる所。

■リモコン収納ホルダーは、右図のように支柱の上方から差し込み、軽く止まる所まで下げて使用してください。無理に下げたり下から差し込むと破損する原因になります。



組み立てかた

⚠警告


禁止

羽根・ガード・ベースを付けずに高さ調節ボタンを押したり運転しない
●モーター部が飛び出したり、転倒してけがの原因になります。


禁止

組み立てる前に支柱を立てたり、電源プラグを差し込んだりしない
●不安定なため転倒し、ショート・感電・けがをする原因になります。

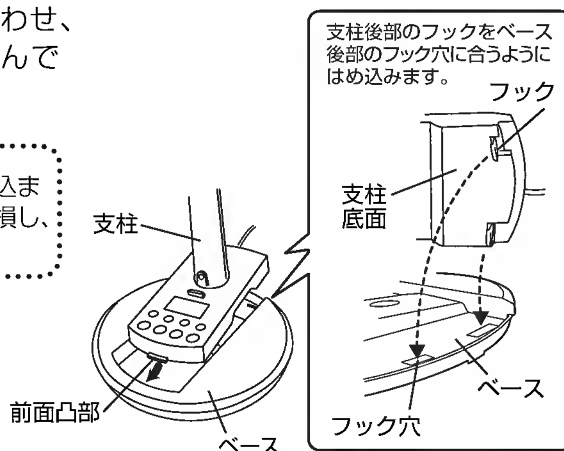
ベースと支柱の連結

1 ベースに支柱をはめ込む



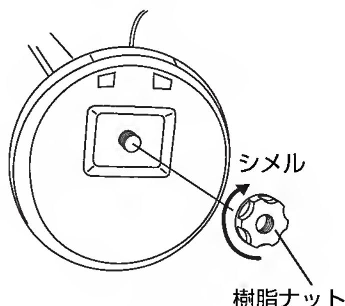
❶支柱底面に取り付けてある樹脂ナットを外してください。
❷平らな安定した場所にベースを置き、支柱前面の凸部をベースに差し込みます。
❸支柱後部のフックをベースのフック穴に合わせ、ゆっくりと支柱をおろしベースにはめ込んでください。

ご使用上の注意
※支柱をベースにはめ込む際、電源コードを挟み込まないように注意してください。電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。



2 樹脂ナットで固定する

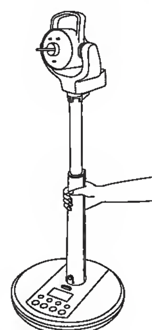
❶モーター部を持ってゆっくりと寝かせてください。
❷ベースの底面より、支柱とベースを樹脂ナットで締め付けてしっかり固定してください。
❸ベースを持ち上げ確実に固定されているか確認してください。



お願い	持ち運ぶときにベースが落下し破損しないよう、必ず付属の樹脂ナットで固定してください。

3 本体を立てる

●平らな安定した場所に本体を立てて、ガード、羽根の取り付け準備をしてください。



組み立てかた　つづき

ベースと支柱の取り外しかた（保管などをするとき）

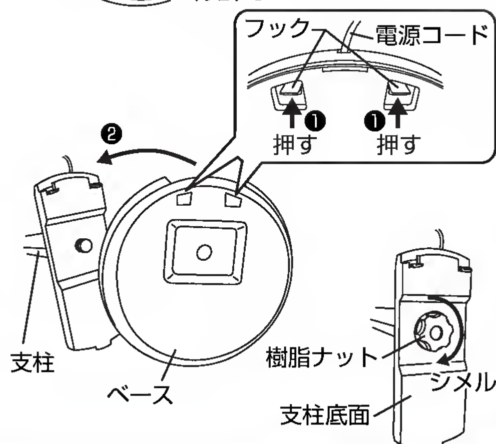
1 樹脂ナットを外す

❶モーター部を持ってゆっくりと寝かせてください。
❷ベース底面の樹脂ナットを外してください。



2 ベースから支柱を外す

❶ベース底面後部のフック（2か所）を電源コード側に押してフックをベースから外してください。
❷ベースと支柱を持ってゆっくりと抜いてください。



お願い	樹脂ナットはベースと支柱の連結に必要ですので、支柱に取り付けた状態で大切に保管してください。また、包装部品は扇風機を保管するときに必要ですので、捨てないでください。

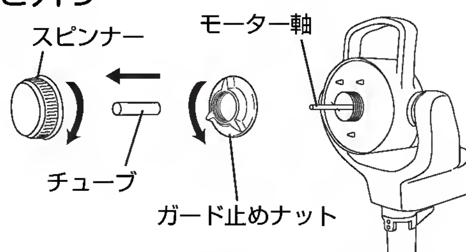
ガード・羽根の取り付け

ご　注　意

- 羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。
- ガード止めナットとスピンナーはネジ山に注意し、かたむきのないようしっかり締め付けてください。
- 羽根を付けずにモーターを運転しないでください。故障の原因になります。
- ガード・羽根の組み立て、取り外しのときはモーター軸や回り止めピンなどでけがをしないように充分注意しておこなってください。

1 スピンナー、ガード止めナット、チューブを外す

- スピンナー、ガード止めナット、モーター軸のさび防止用チューブを外してください。
（チューブは保管のとき必要ですので捨てないでください）

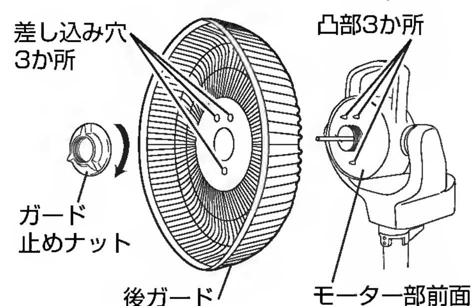


2 後ガードの取り付け

❶後ガードの差し込み穴3か所をモーター部前面の凸部3か所に向きを合わせて差し込みます。
❷「ガード止めナット」を右に回して確実に締め付けてください。

ご使用上の注意

※ガード止めナットは確実にしっかり締め付けてください。
ガードが外れてけがをする原因になります。

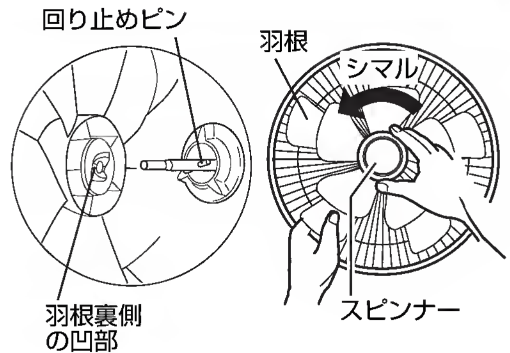


組み立てかた つづき

3 羽根の取り付け

❶モーター軸の「回り止めピン」と羽根裏側の「凹部」の向きを合わせて、羽根をモーター軸の奥まで差し込みます。
❷羽根を押さえながら、「スピンナー」を左へ回して確実に締め付けてください。

ご使用上の注意
※スピンナーは確実にしっかり締め付けてください。羽根が外れてけがをする原因になります。



4 前ガードの取り付け

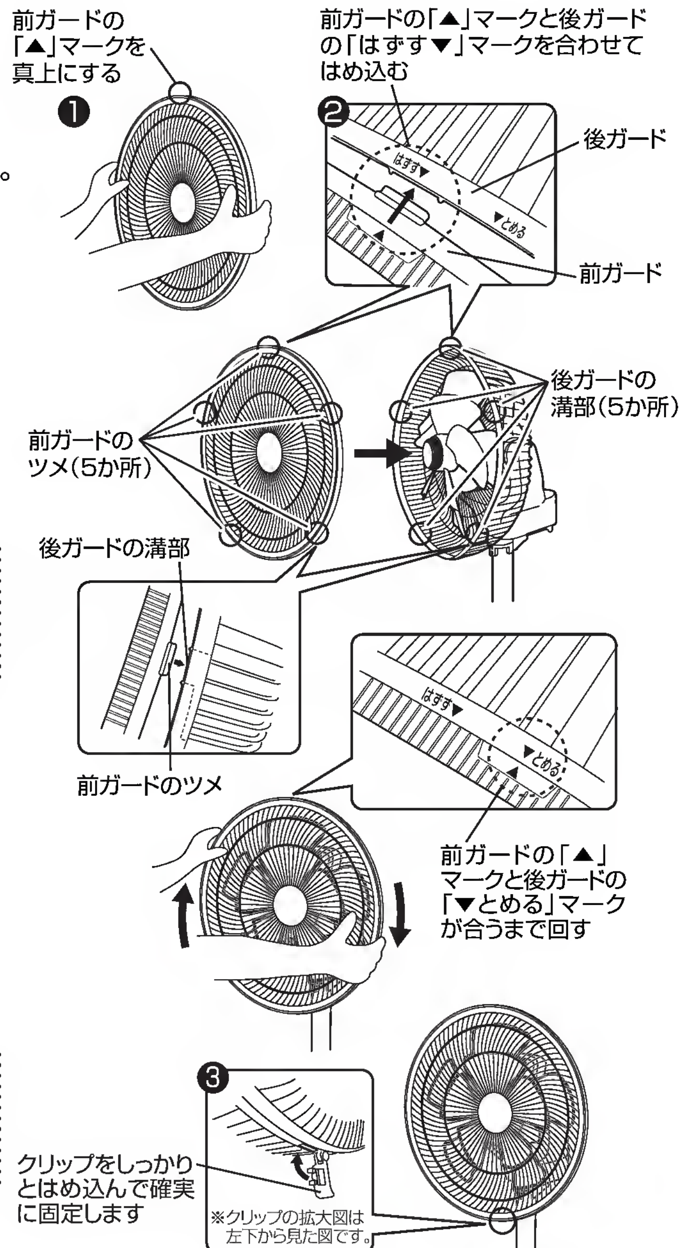
❶前ガードの「▲」マークを真上にする。

❷前ガードの「▲」マークを後ガードの「はずす▼」マークに合わせてはめ込み、前ガードを右回転（時計回転）させます。
※前ガードの「▲」マークが後ガードの「▼とめる」マークに合うまで回します。

ご使用上の注意
※前ガードのツメ部分（5か所）が後ガードの溝部（5か所）へ差し込まれ、前ガードと後ガードの合わせ面にすき間がないことを確認してください。

❸前ガード下部のクリップをはめ込んで固定します。

ご使用上の注意
※前ガードがはまっていなかったり、しっかり回転していないとクリップで確実に固定することができません。無理にクリップをはめ込むと破損する原因になります。



使いかた

⚠警告

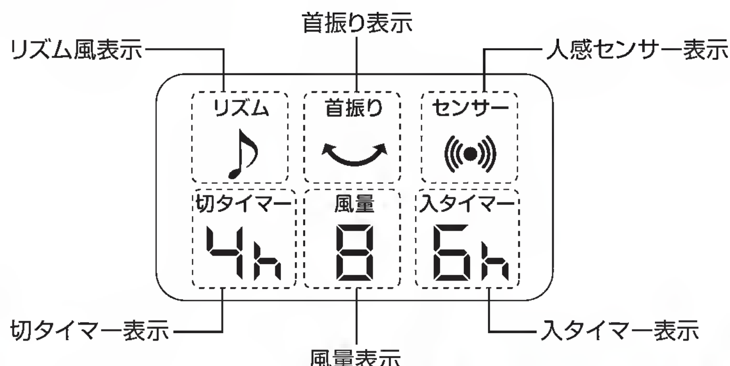


ガードの中や可動部、すき間などに指や棒などを入れない
●重大なけがをする原因になります。特にお子様には注意してください。

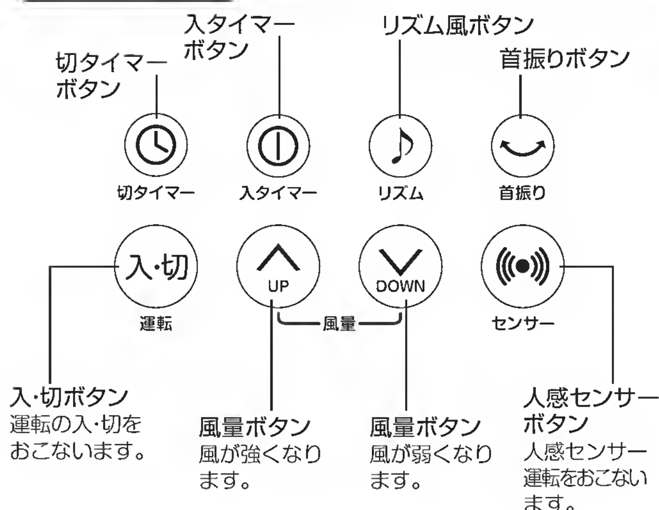
●運転するときは、最初に運転「入・切」ボタンを押します。他のボタンを押しても動作しません。
●運転中に停電したり、電源プラグをコンセントから抜いた場合は、初期状態に戻りますので始めから操作をやり直してください。
●操作部の一部が暖かくなることがありますが、マイコンなどの消費電力によるもので故障ではありません。そのまま続けてご使用ください。

■機能表示部と各ボタンの説明

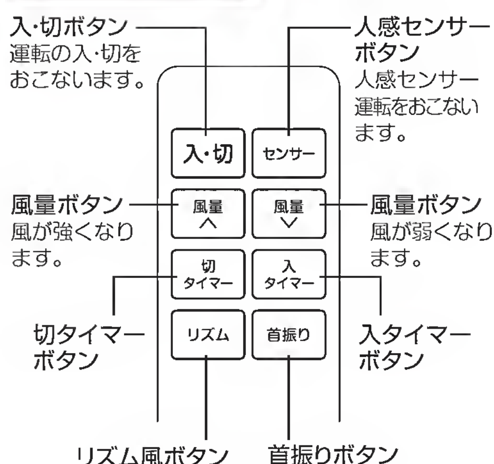
機能表示部



本体操作部



リモコン操作部



1 結束バンドを必ず外してから電源プラグをコンセントに差し込む

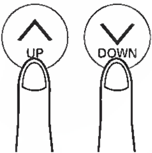
※交流100Vのコンセントに、電源プラグをがたつきがないように根元まで確実に差し込んでください。

2 運転「入・切」ボタンを押して運転する



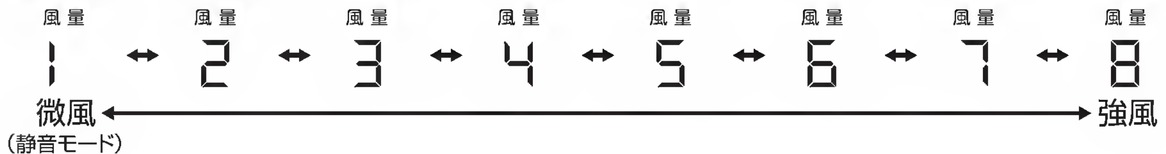
- **運転「入・切」**ボタンを押すと運転します。
- 機能表示部に風量「1」が表示され送風を始めます。
- もう一度押すと停止します。

3 風量を調節する

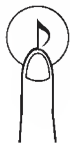


- 運転中に**「風量ボタン」**を押して、風量を「1」～「8」段階まで調節できます。
  ※**「∧UP」**を押すと風量が強くなり、**「∨DOWN」**を押すと風量が弱くなります。
  ※風量「1」は静音モードです。
- 機能表示部の風量表示が「1」～「8」まで点灯します。表示を見ながら調節してください。
- リモコンの風量ボタンでも調節できます。

〔機能表示部の風量表示〕



4 リズム風運転をする



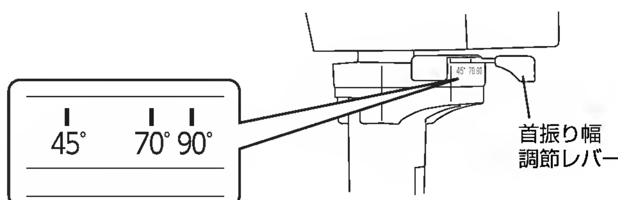
■ **「リズム風」とはマイコンのはたらきで、自動的に風の強さを変化させて運転することです。**

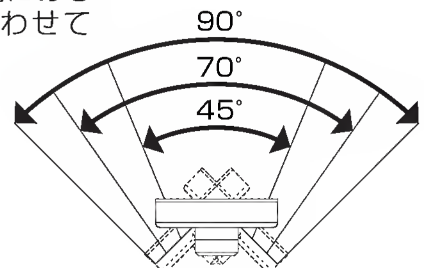
- 運転中に**「リズム♪」**ボタンを押すとリズム風にかわります。
- 機能表示部に「リズム♪」と表示され、風量表示が点滅します。表示を見ながら設定してください。
- もう一度押すとリズム風は解除されます。
  ※リズム風は風量「2」「4」「6」「8」で設定できます。
  風量が「1」「3」「5」「7」のときは自動的に1段階強い風量にかわります。
  ※リズム風を解除すると、リズム風設定時の風量そのままで連続運転します。

5 自動首振り運転をする（首振り幅調節機能付き）



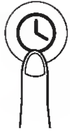
- 運転中に**「首振り◡」**ボタンを押すと左右に首振り運転をします。
- 機能表示部に「首振り◡」が表示されます。
- もう一度押すと停止します。
- 首振り幅を約45°、70°、90°に調節することができます。
  首振り幅を調節するときは、アーム部の下側にある首振り幅調節レバーをお好みに応じて合わせてください。





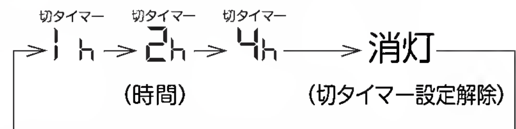
6 タイマーを設定する

切タイマーを設定する場合



■切タイマーは、設定した時間がくると運転を停止するタイマーです。

●運転中に**「切タイマー◷」**ボタンを押すと機能表示部の切タイマー表示が右図のようにかわります。
表示を見ながら設定してください。



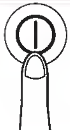
●時間が経過すると4→2→1と運転を停止するまでの残り時間（目安）を表示します。
●設定した時間になると運転を停止します。

◎お好みの風量でリズム風と首振りも同時に設定できます。

●風量はお好みで「1」～「8」の間で設定できます。
●リズム風を設定するときは、「リズム♪」ボタンを押します。
※リズム風は風量「2」「4」「6」「8」で設定できます。
※風量「1」「3」「5」「7」のときは、自動的に1段階強い風量になります。
●首振りを設定するときは、「首振り〰」ボタンを押します。

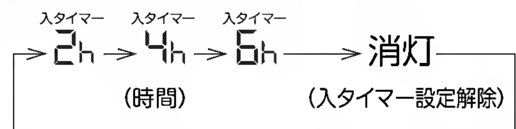
ご使用上の注意
※切タイマー設定中は人感センサー運転を設定することはできません。

入タイマーを設定する場合



■入タイマーは、設定した時間になると運転を開始するタイマーです。

●運転停止中に**「入タイマー①」**ボタンを押すと機能表示部の入タイマー表示が右図のようにかわります。
表示を見ながら設定してください。



●時間が経過すると6→4→2と運転を開始するまでの残り時間（目安）を表示します。
●設定した時間になると運転を開始します。

◎お好みの風量でリズム風と首振りも同時に設定できます。

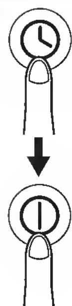
●風量は最初「1」が設定されますが、お好みで「1」～「4」の間で設定できます。
●リズム風を設定するときは、「リズム♪」ボタンを押します。
※リズム風は風量「2」と「4」のみで設定できます。
※風量「1」と「3」のときは、自動的に1段階強い風量になります。
●首振りを設定するときは、「首振り〰」ボタンを押します。

ご使用上の注意
※入タイマー設定中は人感センサー運転を設定することはできません。
入タイマーで運転を開始してから人感センサー運転を設定してください。

入タイマーに関するお知らせ	●運転が停止しているときか、運転中に切タイマーを設定した後のみ設定できます。 ●設定した後に運転「入・切」ボタンを押すと、入タイマーが解除され風量「1」で運転します。

使いかた つづき

切タイマーと入タイマーを同時に設定する場合



■切タイマーで運転を停止し、入タイマーで運転を開始するタイマーです。

❶運転中に「**切タイマー◷**」ボタンを押して運転を停止する時間を設定してください。
❷次に「**入タイマーⓘ**」ボタンを押して、切タイマーで運転を停止してから運転を再開するまでの時間を設定してください。

- ●時間が経過すると残り時間（目安）を表示します。
  ※残り時間の表示内容については11ページの切タイマー、入タイマーそれぞれの設定を参照してください。
- ●切タイマーで設定した時間になると、切タイマーの表示が消え運転を停止し、入タイマーで設定した時間になると、入タイマーの表示が消え運転を開始します。

◎お好みの風量でリズム風と首振りも同時に設定できます。
※入タイマーで運転する場合の風量は「1」～「4」まで、リズム風は風量「2」と「4」のみで設定できます。

ご使用上の注意
※切タイマー・入タイマー同時設定中は人感センサー運転を設定することはできません。
入タイマーで運転を開始してから人感センサー運転を設定してください。

設定例1 リズム風 首振り運転 設定なし	**2時間後に運転を停止し、停止してから4時間後に運転を開始する場合** ❶運転中に切タイマーを2hに設定する。 ❷入タイマーを4hに設定する。

設定例2 リズム風 首振り運転 設定あり	**2時間後に運転を停止し、停止してから4時間後に運転を開始し、同時にリズム風と首振り運転を設定する場合** ❶運転中に切タイマーを2hに設定する。 ❷お好みの風量「1」～「8」の間に設定して、「リズム♪」ボタンと「首振り〜」ボタンを押します。 ❸入タイマーを4hに設定する。 ❹入タイマーの時間を設定してから、約10秒以内にお好みの風量「1」～「4」の間に設定し、「リズム♪」ボタンと「首振り〜」ボタンを押して設定を完了します。

切・入タイマー（同時設定）に関するお知らせ	●同時設定は運転中のみ設定することができます。（先に切タイマーを設定する） ●入タイマーの設定後に風量、リズム風、首振りを設定する場合は約**10秒以内**におこなってください。 ●入タイマーの時間は切タイマーで運転を停止してからカウントされます。 ●同時設定した後に切タイマーの設定を解除すると、入タイマーの設定も解除されます。 ●同時設定した後に運転「入・切」ボタンを押すと、すべての設定が解除され運転が「切」の状態になります。

自動OFFタイマーについて（切り忘れ防止）

■通常使用時の自動OFFタイマーについて
この扇風機は**運転開始から約6時間経過**すると自動的に運転を停止する機能が付いています。
再度運転を開始する場合は、運転「入・切」ボタンを押してください。

■タイマー使用時の自動OFFタイマーについて
- ●切タイマーが設定してある場合は、切タイマーの設定時間で運転を停止します。
- ●入タイマーで運転を開始した場合は、安全のため**約3時間の切タイマー**が自動的に設定されます。

7 人感センサー運転をする



■人感センサー運転とは、センサーが人の動きを感知しなくなると自動で運転を停止し、人の動きを感知すると自動で運転を開始する運転です。

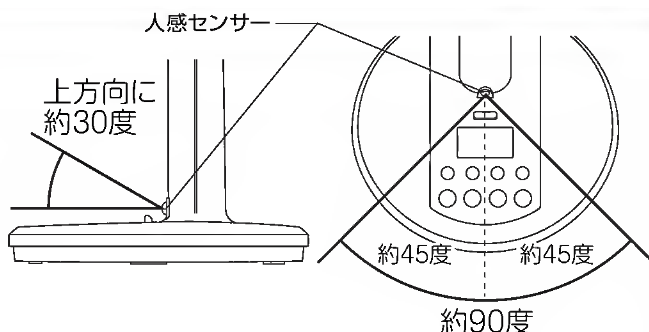
●運転中に**「センサー(•)」**ボタンを押すと人感センサー運転を開始します。
●機能表示部に「センサー(•)」が表示されます。
●もう一度押すと人感センサー運転は解除されます。
※運転停止状態で「センサー(•)」ボタンを押しても人感センサー運転は開始しません。
●人感センサーが人の動きを感知しなくなると約５分後に運転を停止します。
運転停止中は機能表示部のセンサー表示のみが点灯します。
●運転停止後、再び人の動きを感知すると**停止前の状態で運転を開始します。（風量とリズム風と首振りの運転状態を記憶しています）**機能表示部も停止前の運転状態で点灯します。
※「切タイマー」「入タイマー」「切・入タイマー」設定中は人感センサー運転を設定することができません。
※人感センサー運転中に「切タイマー」を設定すると人感センサー運転は解除されます。
※「入タイマー」で運転開始後は人感センサー運転を設定することができます。
※電源プラグを抜くと全てリセットされ、初期状態に戻ります。

人感センサーについて

■人感センサーの感知範囲

●人感センサーの感知範囲は右図のようになっています。
この範囲内で人の動きを感知するよう本体を設置してください。

●人の動きが止まると人感センサーは感知しません。再度、感知範囲内で人が動くと感知します。



感知距離は約2.5m以内です。

■次のような所では人感センサーが誤作動したり、感知しないことがあります。

●人感センサーの感知範囲内に人以外の動くものがあると、人感センサーが作動することがあります。
●直射日光などの強い光があたる場所や、反射するものが近くにある場所で使用すると、人感センサーが誤作動したり、感知しないことがあります。

ご 注 意

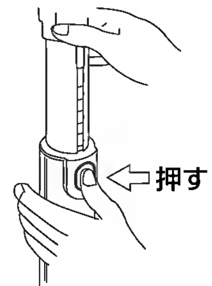
●人感センサー部は定期的に乾いた柔らかいふきんでお手入れをしてください。
人感センサーの表面が汚れていると、感度が悪くなったり作動不良の原因になります。

人感センサー運転中の自動OFFタイマーについて

- 人感センサーの働きで運転が停止すると、６時間自動OFFタイマーは解除されます。
- 人感センサーの働きで運転が再開すると、再開した時点から６時間自動OFFタイマーが自動的に設定されます。
- 入タイマーで運転開始後に人感センサー運転を設定した場合は、センサーの働きで運転が再開するごとに3時間切タイマーが自動的に設定されます。

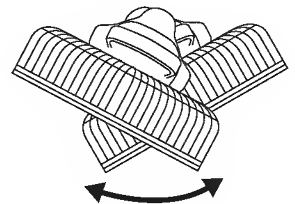
8 高さを調節する

- 高くする場合は、高さ調節ボタンを押しながら、パイプを上げ高さを調節してください。



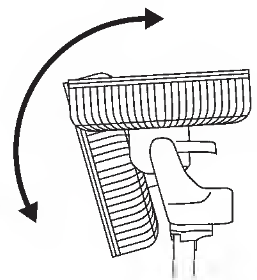
9 風向きを左右にかえる（手動）

- 運転を停止して羽根が完全に止まってから本体を支え、取っ手を持って左右に動かしてください。
  ※左右に軽く動かして止まる所まで調節できます。無理に動かすと故障や破損の原因になります。



10 風向きを上下にかえる（手動）

- 運転を停止して羽根が完全に止まってから本体を支え、取っ手を持って上下に動かしてください。
  ※下向き約15°、上向き約90°の範囲。



⚠警告


禁止

使用中にガードを持って、上下・左右に風向きをかえない
- ガードを持って強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、けがをする原因になります。

使いかた つづき

■使用後は事故防止のため電源プラグをコンセントから抜く

運転「入・切」ボタンを押し、運転を停止してから電源プラグを抜いてください。

⚠注意



外出するときなど使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
- 絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。

お手入れと保管

⚠警告



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない
- 不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。



本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない
- 感電・ショート・火災・故障の原因になります。

⚠注意



お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない
- 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。

※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。



掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない
- 変質・破損などによりけがや事故の原因になります。

ご　注　意

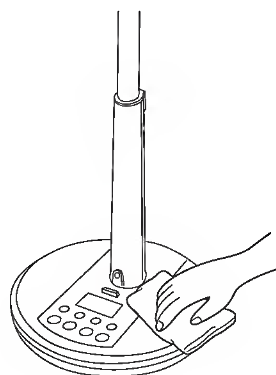
- 取り外し、組み立てのときはけがをしないように充分注意しておこなってください。
- お手入れ後にご使用される場合は、羽根、ガードは確実に取り付けてください。
  羽根、ガードが外れてけがをする原因になります。

〔お手入れ〕

●羽根・モーター部にほこりが多量に付着すると異常音・振動・モーターの過熱の原因になります。定期的に羽根・ガードを取り外し、お手入れをしてください。
●ガードは正面に向けて、組み立てと逆の順序で取り外してください。
※ガードが正面に向かない場合は無理に戻さず、首振りさせて正面に向けてください。
破損・故障の原因になります。

■本体

●汚れは、水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取ります。
●落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤分が残らないようにふき取ります。



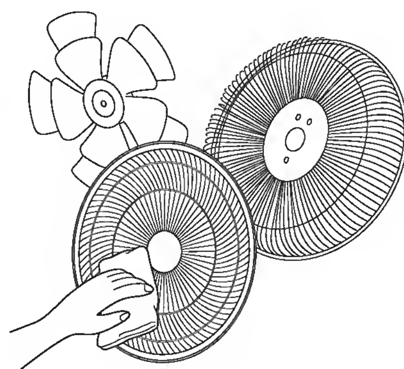
■人感センサー部

●定期的に乾いた柔らかいふきんでお手入れをしてください。
人感センサーの表面が汚れていると、感度が悪くなったり作動不良の原因になります。



■モーター部、前･後ガード、羽根

●掃除機でこまめにほこりなどを吸い取ります。
●落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤分が残らないようにふき取ります。
※お手入れ後は羽根・ガードをしっかりと取り付けてください。



〔保　管〕

●〔お手入れ〕の方法に従って、お手入れします。
●モーター軸の汚れを取ってミシン油をうすく塗り、チューブをかぶせます。(さびの防止)
●包装ケースに納め、直射日光を避けて、湿気の少ない場所に保管します。

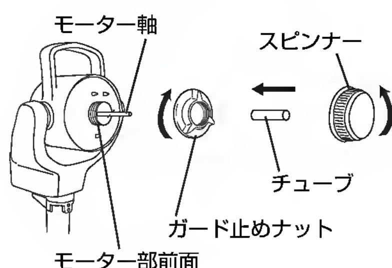
〔収納方法〕

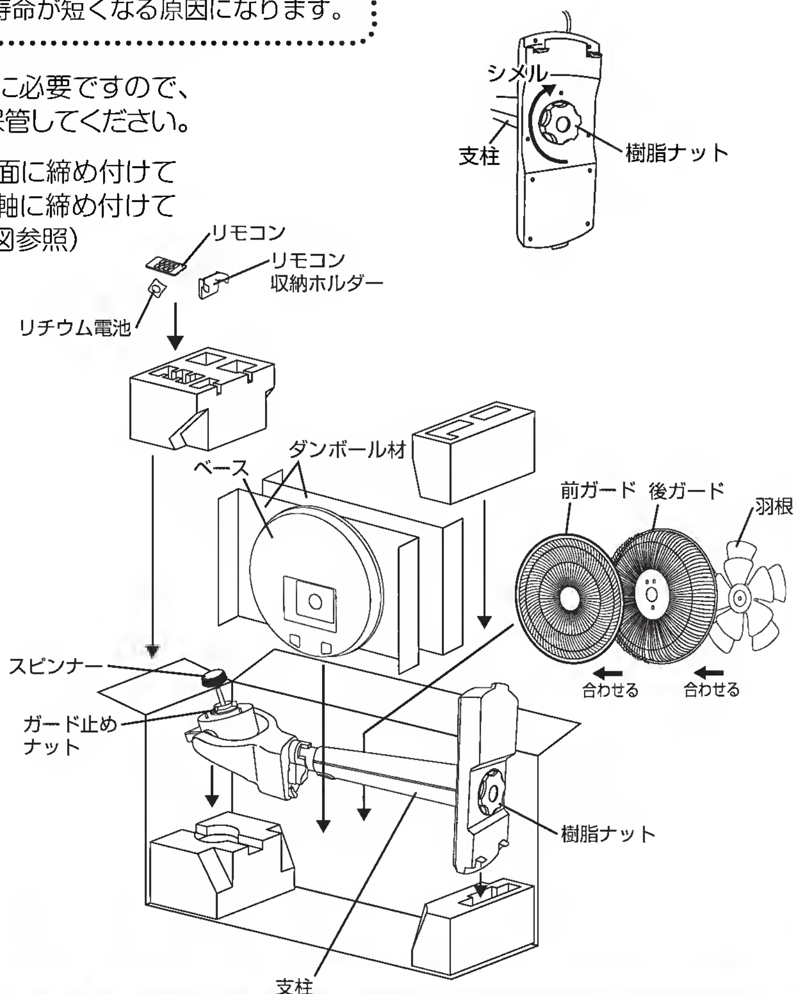
- 製品を組み立てと逆の順序で取り外します。（6～8ページ参照）
- 下図を参照して扇風機を収納してください。

お願い

※リモコンはリチウム電池を必ず取り出して保管してください。
　リチウム電池の液もれや電池の寿命が短くなる原因になります。

- 樹脂ナットはベースと支柱の連結に必要ですので、支柱に取り付けた状態で大切に保管してください。
- ガード止めナットはモーター部前面に締め付けてください。スピンナーはモーター軸に締め付けてそれぞれ保管してください。（下図参照）





仕　様

電源	AC 100V（50－60Hz共用）　※モーターはDCモーターを使用
消費電力	26W　（微風時：4W）
製品寸法（約）	幅：370mm×奥行：350mm×高さ：800～1000mm
製品質量（約）	4kg
コード長（約）	1.6m
風速（約）	240m/min　（微風時：43m/min）
風量（約）	44m³/min　（微風時：7m³/min）

※上記の仕様は改善などのため、予告なく変更する場合があります。
※本体内部でDCに変換しています。

長期使用製品についてのご注意

長年ご使用の製品は、熱、湿気、ほこりなどの影響により、内部部品が劣化し、発煙・発火のおそれがあります。
ご使用中につぎのような症状がみられる場合は、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買上げの販売店または本書記載の「山善　家電お客様サービス係」にご相談ください。

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても、異常に回転が遅かったり不規則。
- 回転するときに異常な音や振動がする。(摩擦音・接触音・打音などがしたり羽根がブレて振動しているなどの状況)
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、羽根が回ったり、回らなかったりと不安定。

異常があればご使用中止！！

すぐにコンセントから電源プラグを抜いて、お買上げの販売店または本書に記載の「山善　家電お客様サービス係」にご相談ください。

設計上の標準使用期間

製品本体に表示してある【設計上の標準使用期間】は下記に示す標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

環境条件	電　　圧	AC 100V
	周 波 数	50/60 Hz
	温　　度	30℃
	湿　　度	65%
	設　　置	本書に基づく組立て及び設置
負荷条件	本製品の最大定格での運転	
想定時間	運 転 時 間	8h/日
	運 転 回 数	5回/日
	運 転 日 数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年
	首振運転の割合	100%

製品の故障や劣化は、この条件以外でもさまざまな要因に影響を受けます。
標準使用期間に達しない場合でも、上記のような異常がみられた場合にはすぐにご使用をやめ、販売店もしくは「山善　家電お客様サービス係」にご相談ください。
また、「設計上の標準使用期間」は「保証期間」とは違い、本製品の無償修理を保証する期間ではありません。保証内容及び期間につきましては本書に添付の「保証書」に記載いたしております。

アフターサービスについて

①この製品には保証書がついております。
お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。

②保証期間はお買上げ日より1年です。
保証期間中の修理はお買上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

③保証期間経過後の修理（有料）についてはお買上げの販売店にご相談ください。

④この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

⑤アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「山善　家電お客様サービス係」へお問い合わせください。

この製品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

「山善　家電お客様サービス係」
ナビダイヤル 0570-077-078
※PHS, IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

- FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は、商品名・形名・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

- FAXでのご相談は フリーダイヤル 0120-680-287
- Eメールでのご相談は info_m@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて
株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・形名をご連絡ください。

J-130313